

文化財だより 第181号

- 磐田市指定無形民俗文化財
～池田やかた祭り～ P1～2
- 昔の授業体験 参加者募集! P3
- いわたホットラインに登録しませんか? P4
- コラム『ふるさと情報は地元発行パンフレットで!』
室内美香 P4

磐田市教育委員会教育部文化財課 令和2年4月1日発行



磐田市指定無形民俗文化財

～池田やかた祭り～

今、世界中で新型コロナウイルス感染症が蔓延し、その対策に追われています。医療技術が未熟だった江戸時代以前の人々は、こうした疫病から身を守るため、神仏に日々の生活の安泰を祈りました。磐田市内を始め、日本各地には江戸時代以前にルーツを持つ厄除祈願、疫病退散を願う行事が伝わっています。今回、紹介する天竜川左岸、磐田市池田に伝わる夏の行事「池田やかた祭り」もその一つです。

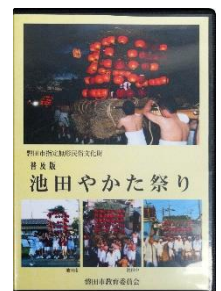
「池田やかた祭り」は疫病神を鎮め退散させる祇園祭の一つです。麦わらの束と竹、カヤで組み上げ神輿みこしのように作った「やかた」をホオズキ提灯ちようちんで飾り付け、これを若衆が天竜川河原に担いで運び、火をつけ川へ流して疫病退散を願います。自治会を単位とした池田南、池田中、池田藤美の地区で8月第一日曜日に行われます。



移動する「やかた」

すぐ見れる DVDを作成しました!

「池田やかた祭り」の様子を編集した DVD を作成しました。わかりやすく編集した「普及版」と、「やかた」を作るところから、火入れするまでの所作を余すことなくまとめた「伝承版」があります。市内図書館で閲覧・貸出できるほか、豊田地区の交流センターでも借りることができます。是非ご覧ください。



江戸時代の池田は東海道の渡し場として栄え、旅人が渡船のため立寄りました。池田には3か所の渡船場があり、東海道から渡船場に通じる3本の横道（横町）に住む人々が中心になり、「やかた祭り」が行われるようになりました。

やかたは円筒状に束ねた麦ワラを井桁に組み合わせ土台を作り、この上に竹の骨組みを立て、カヤと竹の屋根をのせ、ホオズキ提灯で飾ります。ホオズキ提灯は地区の方々が奉納したもので、家内安全、交通安全、病気平癒などの願い事が書かれています。

ホオズキ提灯に灯が入り、若衆によって天竜川河原まで運ばれ、そこで火が放たれます。「やかた」は燃えると同時に奉納者の災禍も流すこととなります。

必見！ 市内にはほかにも厄除けを願う行事が伝わっています。また、その痕跡は発掘調査で見つかることもあります。その一部をご紹介します。

厄除祈願 病魔退散！ 「祇園祭」は牛頭天王ごずを祀り（天王信仰）、疫病や災禍からまぬがれようとする祭礼で、磐田市内でも見付（天御子神社）や掛塚（貴船神社）などで行われています。「祇園祭」だけではなく、八王子神社「米とぎまつり」や松之木島の「火祭り」などの行事も災禍から地区や身を護るために行われています。

遺跡で発見 大発見！ 御殿・二之宮遺跡から奈良時代に使われた墨で人の顔を描いた土器（人面墨書土器）が出土しています。人面は疫病神や鬼神を表現したものとされます。この頃には天然痘てんねんとうなどの疫病が流行しましたが、人々は疫病神や鬼神がもたらす病気と考えていました。人面墨書土器は災禍をもたらす神々を追い払うため、病気になる人が息を吹き込み、川や溝に流したものと考えられています。

私たちの身近な行事「節分」も厄除祈願・病魔退散の一つです。「やかた祭り」に込められた平穏な生活を望む庶民の願いは今も生活の中に残されていると言えます。



灯を入れた「やかた」



燃える「やかた」



八王子神社「米とぎまつり」



人面墨書土器（御殿・二之宮遺跡出土）

「今すぐ祈願したい」「行事を見たい」「どうしても見たい」

そんなあなたに朗報・・・安心してください。『池田やかた祭り』以外にも『見付天神裸祭』、『八王子神社 米とぎまつり』『遠州大念仏』『掛塚祭り』のDVDを市内の図書館で借り、自宅で見ることができます。今すぐ見たい方は3分程度に編集したダイジェスト版の動画を磐田市ホームページでご覧いただけます。画像を見ながら厄除祈願、病魔退散を祈願することもいいのではないのでしょうか。



4月15日から受付開始 昔の授業体験 参加者募集！

明治8年（1875）に落成・開校式をあげた現存する日本最古の木造擬洋風小学校校舎である旧見付学校で、^{かすり} 紺の着物を着て明治・大正の授業を受けてみませんか。

当日は、明治時代の教科書を読んだり、石盤に文字を書く体験のほか、授業後に羽子板やコマなどの昔の遊び体験をおこなう予定です。ぜひご参加ください。



旧見付学校校舎前での集合写真

日時：6月21日（日） 9:00～11:30

会場：旧見付学校 対象：小学生（市内外・学年問わず）

定員：25名（先着順）参加費：500円

申込：①参加者名（ふりがな） ②性別 ③学校名 ④学年

⑤保護者の住所・氏名・電話番号を明記し、郵送または旧見付学校まで直接お申し込みください

その他：当日の持ち物、詳細については郵送にてお知らせします



国語の授業の様子



石盤に文字を書いている様子



コマ遊びを習う様子



<申込・問合せ>

磐田市旧見付学校

入館無料

見学時間：午前9時～午後4時30分

休館日：月曜日・祝日の翌日

〒438-0086 磐田市見付 2452

TEL&FAX 0538-32-4511

旧見付学校では、明治時代の教室の再現や教科書、民具なども展示しています。ぜひお越しください。



©磐田市

メール配信サービス

いわたホッとラインに登録しませんか？

文化財課では、磐田市メール配信サービス「いわたホッとライン」で歴史・文化財情報をリアルタイムで配信するサービスをおこなっています。昨年度は、文化財課主催の展示会・イベント情報などをお届けしました。ぜひご登録ください。

<登録方法>

- ① entry@hotline.city.iwata.shizuoka.jp へ空メールを送信
 - ② 「仮登録完了のお知らせ」というメールが届いたら、画面に従って登録
 - ③ 受信希望情報入力画面で『メールマガジン 磐田の歴史・文化財』をチェック
- QRコード読み取り可能の携帯電話をお使いの方は、下記QRコードをご利用ください。



企画展



講演会

よろしくお願いします



QRコード



職員リレー コラム

ふるさと情報は地元発行パンフレットで！

室内 美香

文化財課では、市内の文化財や歴史を紹介する無料配布のパンフレットを各種作っています。文化財の位置がわかる「文化財案内図」、市内を9地区にわけて域内の文化財を紹介する「ふるさと散歩」シリーズは好評です。皆様が今ご覧になっている「いわた文化財だより」は毎月発行ですので「掲載記事は鮮度が命！」と、編集担当者はいつも旬のネタを探しています。そして担当者が何度も校正をしながら制作します。限られた紙面に多くの情報を載せたい、けど紙面がギッシリで逆に見にくい、あー仕方ないこの記事はカットにしよう、と四苦八苦しながら作っています。地元の方でも市外から来た方でも見やすいパンフレット作りを心掛け、地元ならではの情報を盛りこんだ内容を心掛けています。

私は旅行に出かけると、博物館や観光案内所でご当地発行のパンフレットを探すのがクセになっています。地元発行のパンフレットにはその地ならではのレアな情報が詰まっているからです。パンフレット制作担当者が、文章を読む人のためにわかりやすい内容にしようと苦労したはずです。そんなことを思いながら各地のパンフレットを楽しんで読んでいます。皆様も旅に出た際には、地元発行のパンフレットを是非手にとってみてください。市販のガイドブックとはまた違う情報を得ることができますよ。

(私事ですが、4月より経済観光課に異動することになりました。文化財課で学んだことを今度は磐田の観光の場面で生かせるよう頑張りたいと思っています。)



埋蔵文化財センターで
配布しています！

編集後記
この4月で磐田市合併15周年、新しくなったいわた文化財だよりも第1号の発刊から15周年を迎えました。今後ともよろしくお願いいたします！！

発行：磐田市教育委員会事務局教育部
文化財課(磐田市埋蔵文化財センター)
住所：〒438-0086 磐田市見付 3678-1
電話：0538-32-9699

◆WEB版は市HPから閲覧できます。 [磐田市 文化財だより](#)

